

令和元年度第8回石川県地域連携室連絡会開催 「病院の外の生活の場“元ちゃんハウス”でがん患者を支える」



石川県地域連携室連絡会は平成17年に設立されたピーンズクラブに端を発する。ピーンズクラブは県内の地域連携実務担当者が講演会や懇親会を開催していた。その後、平成23年に石川県地域連携室連絡会が開催されたが、当時は連絡会のみを取り行っており、講演会や懇親会は行われていなかった。転機となったのは、平成24年7月に開催されたピーンズクラブの懇親会。故西村元一先生から、「ピーンズ

クラブは実務関係者の懇談会として開催されてきたが、次回以降、地域連携室連絡会とコミットする形で拡大し、医師を交えた会として開催したい」と提案された。このことが契機となり、平成25年1月15日に第1回石川県地域連携室連絡会が開催されることとなった。その後、第1回から第5回までの地域連携室連絡会の開催、石川県医師会とのパイプ役として、石川県内の地域医療連携の発展に大きく

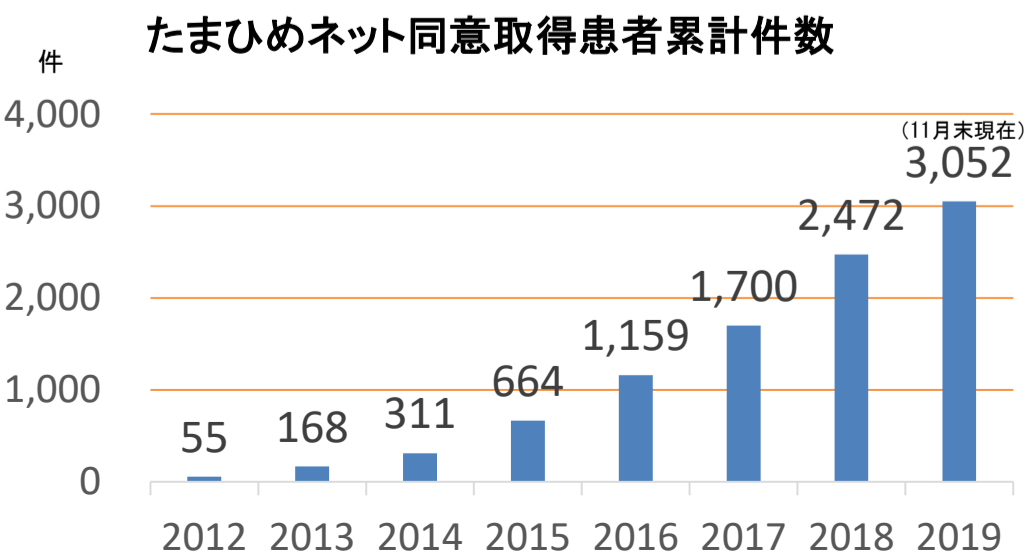
講師の西村先生、多くの参加者の胸打つ

金沢大学附属病院地域医療連携室では、10月5日に第8回石川県地域連携室連絡会を開催した。今回は連絡会設立に深く関わった故西村元一先生の奥様である西村詠子先生をお招きし、「病院の外の生活の場“元ちゃんハウス”でがん患者を支える」と題した講演会では、97名の参加者が熱心に耳をかたむけた。

寄与された。講演会では、故西村元一先生が心血を注いで設立した元ちゃんハウスを引き継ぎ、資金的な裏付けのない中、病院でも家でもない第3の場所を地域に根付かせる活動について西村詠子先生より紹介があった。アンケートには「ご主人を亡くされたにもかかわらず、ご自分の悲しさに沈む事なく、後を引き継ぎされている姿に感動しました。ありがとうございます」と思わず胸が熱くなるコメントや、「ぜひ、元ちゃんハウスを紹介したい」「自分たちの住んでいる地域に元ちゃんハウスのような施設があったら」との言葉が寄せられている。講演会後には連絡会も開催され、多くの医療機関や地域の施設との活発な意見交換が行われ、情報共有が図られた。

たまひめネット同意取得3,000名を突破!

本院で利用している電子カルテ共有システム「たまひめネット」(金沢大学附属病院継続診療システム)の同意者数が11月末にて、3,000名を突破した。「たまひめネット」は平成24年から本院で導入されている医療ICTネットワークである。ソフトウェアは、SEC社が提供する「ID-Link」を使用している。石川県内には、同様の医療ICTネットワークとして、金沢市医師会が運営している「ハートネットホスピタル」や石川県が運営している「いしかわ診療情報共有ネットワーク」があり、それぞれのネットワークが相互に情報共有を行うことで、シームレスな地域医療連携を実現している。



講演会終了後には、恒例の懇親会を片町にて行った。美味しい料理を楽しみながら、関係機関の方々との情報交換は地域連携室にとって重要なミッション。そう、真の連携は夜につくられる!恒例の病院紹介もユーモア交えた紹介や、まじめな紹介それぞれで、盛り上がりを見せた。当日は大相撲金沢場所を翌日に控えていたため、金沢の町はお相撲さんでいっぱい。道行く力士に歓声をあげる場面も見られ、皆楽しい時間を過ごしたようだった。

消費税率が10%となり、当然飲食店では軽減税率の対象とならない中、お店のオーナーが「消費税分はサービスします」とまさかのサプライズ!会場は、参加者のざわめきの声に包まれた。消費税サービス分は、参加者了承のもと、講演会で講師を務めた西村先生へのねぎらいと、元ちゃんハウスの益々の発展へ願いをこめて、寄付することとなった。

西村先生(左)と加畑室長(右)



懇親会終了後は記念撮影!



講演会後には懇親会を開催!